

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】平成 16 年 12 月 2 日 (2004.12.2)

【公開番号】特開 2001-13836 (P2001-13836A)
【公開日】平成 13 年 1 月 19 日 (2001.1.19)
【出願番号】特願 平 11-188921
【国際特許分類第 7 版】
G 0 3 G 21/10
【F I】
G 0 3 G 21/00 3 1 8

【手続補正書】
【提出日】平成 15 年 12 月 17 日 (2003.12.17)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】

【発明の名称】画像形成装置

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも像担持体と該像担持体に形成された静電潜像をトナーにより現像する現像手段と現像されたトナー像を転写紙に転写する転写手段と像担持体上に残存したトナーをクリーニングするクリーニング手段とを有する画像形成装置であって、
前記クリーニング手段は、少なくともクリーニングブレードと非絶縁材料のクリーニング補助部材より構成され、該クリーニング補助部材に定電流バイアスを印加する印加手段を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

画像形成枚数に基づき前記定電流バイアスを変化させる事を特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

環境条件に基づき前記定電流バイアスを変化させる事を特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記クリーニング補助部材はクリーニングローラであることを特徴とする請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記クリーニング補助部材はファブラスシであることを特徴とする請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記定電流バイアスは絶対値で $1 \mu A$ 以上であることを特徴とする請求項 1 ~ 5 の何れか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 7】

前記定電流バイアスは絶対値で $5 \mu A$ 以上であることを特徴とする請求項 1 ~ 5 の何れか

1 項に記載の画像形成装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は転写紙にトナー像を転写した後に像担持体上に残される残存トナーを除去するクリーニング手段を改良した画像形成装置に関する。ここに転写紙とはトナー像が転写されるシート状のものであり、紙のシートに限らずプラスチックのシートを含むものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明はこのような問題点を除去し、クリーニング補助手段へのバイアス印加の補正制御や補正機構の殆ど不用な簡便でクリーニング性能の高い安定したクリーニング手段を持った画像形成装置を提供することを課題目的にする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

この目的は次の技術手段(1)～(7)の何れかによって達成できる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 5】

【発明の効果】

本発明により、クリーニング補助手段へのバイアス印加の補正制御や補正機構の殆ど不要な簡便でクリーニング性能の高い低コストで安定したクリーニング手段を持った画像形成装置が得られた。